

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	秋川ファーマーズセンター
	所在地	あきる野市二宮811番地
	所管課	環境経済部農林課農政係（内線）2522
指定管理者	名 称	秋川農業協同組合
	所在地	あきる野市秋川三丁目1番地1
	業務内容	① 市内農業者が生産した良質で新鮮な農畜産物等の販売業務 ② 農畜産物等の販売促進に関する業務 ③ 農畜産物等の計画的生産に関する業務 ④ 地域産業との相互協力による販売業務 ⑤ 農業従事者の相談に関する業務 ⑥ 市民農園の管理に関する業務 ⑦ センターの維持管理に関する業務 ⑧ その他市長が必要と認める業務
ホームページURL		http://www.ja-akigawa.or.jp/shiten/tennpo/fc.htm
指 定 期 間		平成31年4月1日～令和6年3月31日

2 施設の利用状況等について

項 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開館等日数（日）	359	359	359	359	357
利用者（来客者） 数（人）	304,782	304,331	303,528	284,595	272,914
前年度比（人）	△3,670	△451	△803	△18,933	△11,681
前年度比（%）	98.8	99.9	99.7	93.8	95.9
利用料金（売上） 合計（千円）	452,779	457,575	466,268	437,345	418,229
前年度比（千円）	△2,170	4,796	8,693	△28,923	△19,116
前年度比（%）	99.5	101.1	101.9	93.8	95.6

※その他、必要に応じて、施設の性格ごとに項目を追加する。

3 施設の収支状況について

（単位：千円）

項 目		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収 入	指定管理料	0	0	0	0	0
	使用料収入 （売上）	266,337	275,577	290,563	273,925	264,008
	自主事業収入	181,882	177,602	171,258	159,157	149,742
	その他の収入	4,560	4,397	4,447	4,263	4,479
	計	452,779	457,576	466,268	437,345	418,229
支 出	人件費	27,874	22,224	28,144	28,961	17,527
	維持管理経費	19,922	20,290	20,699	19,687	20,395
	自主事業 関係経費	404,705	412,660	416,981	395,506	381,700
	その他の支出	13	12	100	18	26
	計	452,514	455,186	465,924	444,172	419,647
収支（収入－支出）		265	2,390	344	△6,827	△1,418

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
店内にアンケート用紙及び回収箱を置き、来店者の色々な意見・要望等を把握し、直売所運営委員会を通じて農業者に周知している。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
<ul style="list-style-type: none"> ・購入した農産物の不良品の苦情については、生産者に詳細な苦情内容を伝え、生産者が購入者に説明をし、購入者の意向に沿った対応（交換・返金）を行った。 ・品薄に対する苦情については、生産者に追加搬入のメールを配信し、量の確保に努めた。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
<ul style="list-style-type: none"> ・旬の野菜を使ったレシピを作成し、陳列台に配置することによりサービス向上に努めた。 ・学校給食センターに新鮮で安心・安全な地場農産物を提供した。 ・地場農産物を使用した加工品（ドレッシング）を開発し6次産業化を促進している。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
<ul style="list-style-type: none"> ・古新聞を包装紙として活用している。 ・マイバックの持参を呼び掛け、レジ袋の削減を図っている。 ・マイバックを持たない購入者に段ボール箱を提供している。 ・支障を来さない範囲で売場照明と空調設備の節電に努めている。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
当センターは、新鮮で安全・安心な農畜産物を年間を通して安定的に供給するとの理念の下に農業者と農協が一体となって様々な取り組みを行っている。一方、昨年10月の台風により収穫前の野菜や冬野菜の生育に甚大な影響を及ぼした。地元農畜産物を使用した更なる加工品の開発と足を運びたいセンターのリニューアルも検討する必要がある。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
新鮮で安心・安全な「朝採り野菜を食卓へ」をキャッチフレーズの下、農業者と秋川農業協同組合が連携して農業者の所得向上に取り組んでいる。また、来客者からの意見・要望等は、農業者にフィードバックしており、更なる市民サービスの向上に努めている。	
経費削減の取組	
納品物の段ボール箱、古新聞紙の再利用とともに、マイバックの持参を呼び掛けており、レジ袋は有料としている。また、照明灯や空調についても必要最小限の使用とするなど節電にも努めている。	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
指定管理者の業務内容全般については、適正に運営されていると評価する。一方、農業従事者の高齢化の進展を踏まえ、良質な農畜産物の計画的生産について、秋川農業協同組合（営農指導）が先導することを望む。	
総合評価	A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。